## 6. 電池切れ検知機能

この警報器は電池電圧が低下した場合、自動的に電池切れをお知らせする電池切れ検知機能を備えています。

| | |
|---|---|
| ⚠注 意 | 電池寿命は10年間を想定していますが、お客様のご使用状態により、電池寿命が短くなる場合があります。 |

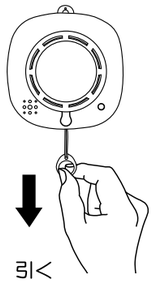
### 電池切れを検知したとき

電池切れ検知時には動作表示灯が約10秒おきにピカピカピカと点滅します。また、約50秒おきに電池切れ警報音(「ピッピッピッ」音）が鳴ります。

### 電池切れ警報音を止めるには

電池切れ警報音(「ピッピッピッ」音）が鳴っている場合に、点検スイッチを押すか引きひもを引くと電池切れ警報音(「ピッピッピッ」音）が停止します。12時間後に再び「ピッピッピッ」音が鳴ります。

※この警報器は電池の交換ができませんので、電池切れとなった場合はお買い求めの販売店までご連絡いただき、新しい警報器に交換してください。

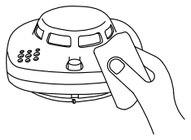



（または点検スイッチを押す）

## 7. お手入れのしかた

煙感知部表面にホコリやくもの巣がつくと、煙を感知しにくくなります。警報器がより良い状態で動作するように、お手入れをお願いします。

| | |
|---|---|
| ⚠警 告 | お手入れは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。 |



・年に1回は布で煙感知部のホコリやくもの巣を取り除いてください。

・表面の汚れは、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから拭き取ってください。

※水道水等による丸洗いをしないでください。誤作動や故障の原因となります。

※中性洗剤、ベンジン、シンナーは表面を傷めますので絶対に使わないでください。

・お手入れ後は『 4. 使用方法 点検のしかた 』に従って点検をしてください。

・警報器の交換時期は、通常の使用状態で約１０年です。電池が消耗すると約50秒おきに「ピッピッピッ」と警報音が鳴ります。この場合、新しい警報器と交換してください。

## 8. 故障かと思ったら

・点検などで故障と思った時、修理、サービス依頼される前に、下表に従って点検および処置をしてください。

| 状　態 | 点　検 | 処　置 |
|---|---|---|
| 火災が発生していないのに警報器が作動する。 | 警報器の近くで調理の煙や湯気が滞留していないか？ | 煙や湯気などを取り除く。 |
| | くん煙式殺虫剤やスプレー式殺虫剤を使っていないか？ | 窓やドアを開け換気する。 |
| 点検スイッチ、引きひもを操作しても警報動作しない。 | ― | 「2、取り付ける前に」に従い正しく警報器を起動して下さい。 |
| 警報器が約50秒おきに「ピッピッピッ」と鳴る。 | ― | 電池が消耗しています。警報器を交換して下さい。 |
| 警報器が50秒おきに「ピッピッピッ」と鳴る。<br>点検スイッチ、引きひも操作しても、煙を入れても警報動作しない。 | ― | 警報器の故障が考えられます、お買い求めの販売店までご連絡いただき、新しい警報器に交換してください。 |
| 警報器の警報音が鳴りやまない。 | 煙感知部がホコリなどで汚れていないか？ | 煙感知部のホコリを布などで取り除いて下さい。 |

※上記の処置を行っても解決しない場合は販売店までご連絡ください。

## 9. アフターサービス

1．保証書
保証書はこの取扱説明書に付いております。保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

2．保証期間中に修理を依頼される場合
保証期間はお買い上げ日から１年間です。
取扱説明書「8、故障かと思ったら」に従って調べていただき、まだ異常があるときは、お買い求めになった販売店へ修理をご依頼ください。
・修理依頼される時に必要な内容
◆ご住所・お名前・電話番号・商品名・商品記号
お買い上げ日・異常内容

3．アフターサービスについてのお問い合わせ
保証期間中の修理などアフターサービスについて不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店までお問い合わせください。

## 10. 廃棄する場合

本警報器に使用している電池は、「一次電池」ですので一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は、各自治体の基準に従ってください。
廃棄する場合は本体うら蓋のネジを外し、電池を取り外し分別廃棄をすることができます。

## 11. 仕様

| | | | |
|---|---|---|---|
| 商　品　名 | 住宅用火災警報器(ハイガード) | 警報音量 | 約85dB/m |
| 商品記号 | SS-2LH-10HC | 寸　法 | 100mm×100mm×43mm<br>(引掛フックをのぞく) |
| 定　　格 | 3V　15mA | | |
| 電　　源 | 3Vリチウム電池(内蔵) | 質　量 | 約120g |
| 電池寿命 | 約10年　※ | 使用温度範囲 | 0℃～40℃ |
| 感知方式 | 煙式(光電式:2種) | 付属品 | 取付ネジ、石こうくぎ<br>取付板<br>取扱説明書(保証書付) |
| 試験機能 | 自動試験機能 | | |
| 警　報　音 | ブザー音「ピー、ピー、ピー」 | ※頻繁に動作した場合など、ご使用状況により電池寿命が短くなることがあります。 | |

ホーチキ

# 住宅用火災警報器(ハイガード)

商品記号　SS-2LH-10HC
光電式　電池方式　2種
自動試験機能付

**取扱説明書**

消防法令適合品
住宅性能表示制度対応品
東京都火災予防条例適合品

### ■ハイガードの特長

・火災時に発生する煙を素早くキャッチします。

・住宅火災を大きな音とランプでお知らせします。

・各部屋の壁面にネジやフックで簡単に取り付けできます。

・面倒な電池交換は不要です。

・安心の点検機能付きです。

● このたびは、本警報器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
● お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、内容をよくご理解ください。
● 本書(取扱説明書)は取り付け後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。
● この警報器は、火災による煙を感知して作動するものです。火災を防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

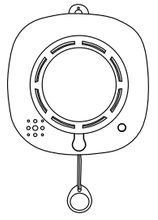
## 警報器をご使用になる前に

警報器を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。それぞれの表示と意味は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

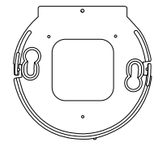
■ 誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警 告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されることを表しています。 |
| ⚠注 意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合および物的損害が想定される場合を表しています。 |
| ⃠ | 「一般的な禁止」事項を示しています。 |
| ⃠ | 「分解禁止」を示しています。 |
| ❗ | 「必ずおこなう」事項を示しています。 |

## 商品のご確認



警報器（1個）



取付板（1個）

石こうくぎ（3本）

取付ネジ（2本）

取扱説明書（本書）

## ご使用上の注意

### ⚠警 告

⃠ ・警報器は絶対に分解しないでください。

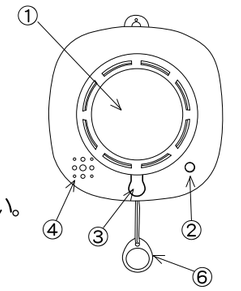
⃠ ・警報器を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

### ⚠注 意

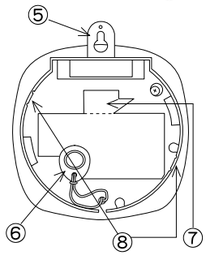
・この警報器は煙を感知して作動するものです。火災の防止装置ではありません。
・警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを閉めた時は、他の部屋で発生した火災による煙が警報器までとどかず作動しない場合があります。
・火災時の煙は上昇するため、２階で発生した火災を１階に取り付けた警報器で発見することはできません。
・警報器の前に物を置いたり取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
・殺虫剤(くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤なども含む)、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報器が作動することがありますが、しばらくすると鳴りやみます。(点検スイッチまたは、引きひもの操作により警報を一時停止することもできます。)
・この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
・この警報器は、火災以外の煙(調理による煙、湯気、浴室からの湯気、たばこの煙など)により作動することがあります。
・**引きひもを強く操作しないでください。(耐荷重：約3kg)過度の荷重をかけた場合故障の原因となります。**
・煙感知部に綿棒、異物等を突っ込まないようにしてください。誤作動や故障の原因となります。

2-8-000-1772-154

## 1. 各部のなまえとはたらき




①煙感知部
・ここで煙を感知します。
②動作表示灯
・火災時に点灯(フラッシュ)します。
・電池切れや故障時に点滅します。
③点検スイッチ(警報停止・点検用)
・『4. 使用方法 警報を止めるとき 点検のしかた 』を参照してください。
④音響孔
・ここから警報音が出ます。
⑤引掛フック（壁面取り付け用）
⑥引きひも(警報停止・点検用)
・『4. 使用方法 警報を止めるとき 点検のしかた 』を参照してください。
・引きひもはご使用にならない場合、警報器裏面に止めておくことができます。




⑦シールを切り取るとコネクタ式移報リード線が取り付けられます。コネクタ式移報リード線により増設ブザーなどの外部装置が接続できます。
外部装置と接続される場合は別売のYYH-2Aをご使用ください。
・ 移報端子出力仕様
出　　力：オープンコレクタ出力(警報時ショート)
極　　性：有極性(赤+、灰−)
最大定格：DC24V、20mA
⑧通線部
コネクタ式移報リード線の露出配線を行う際にはニッパ等で取り除き線を通してください。

## 2. 取り付ける前に(必ず行ってください)

**⚠警 告** 取り付け前には次の操作をしてください。操作しないと警報器が正常に動作しません。

警報器はこのままでは動作しません。取り付け前には必ず点検スイッチを3秒間「ピッ」と鳴るまで押し「ピー、ピー、ピー」と鳴ることを確認してください。これで起動が完了し、監視状態になります。




点検スイッチを強く押さないでください。過度の荷重をかけた場合、故障の原因となります。

## 3. 警報器の取り付け

**⚠警 告** 取り付けは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

警報器は必ず正しい場所に取り付けてください。
誤った位置に取り付けると火災による煙を正常に感知できなかったり、誤作動の原因となります。
取付場所に関しては、政省令で定める基準に従い市町村条例で定められます。各市町村によって取付場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

### 取り付け方法 壁面への取り付け

(引掛フックを使用した取り付け)

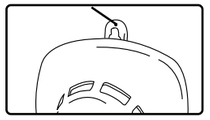
①取付は補強材などが通っている丈夫な場所を選び付属のネジ１本を途中までねじ込んでください。

②警報器の上部にある引掛フックの孔をネジに掛け、ネジを締め込んでください。

**⚠注 意** 石こうくぎを下方から打ち込みますと警報器がはずれる場合があります。

(石こうくぎを使用する場合)

警報器の上部にある石こうくぎ取付孔部分に付属の石こうくぎで警報器をしっかりと固定してください。
石こうくぎを打ち込む際には、図のように上方から斜めに打ち込んでください。

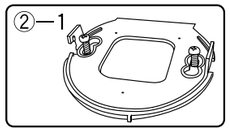


(取付板を使用した取り付け)

①取付板を使用する場合、警報器上部のフックは使用しません。フック部分は簡単に折れる構造になっていますので必要に応じて折ってご使用ください。

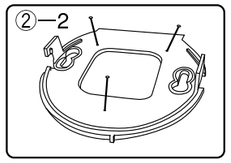
(取付ネジを使用する場合)

②−1取付面の補強材などが通っている平坦で丈夫な場所に、付属のネジ２本で取付板をしっかりと固定してください。

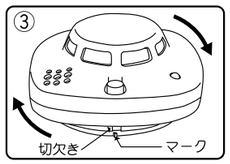



(石こうくぎを使用する場合)

②−2取付面の平坦な場所に、付属の石こうくぎ３本で取付板をしっかりと固定してください。
石こうくぎを打ち込む際は、図のように斜めに打ち込むとしっかり固定できます。




③取付板のマークと警報器下部の切り欠きが合うように重ね、警報器が止まるまで右に回してください。警報器を取り外す場合には、警報器が止まるまで左に回してください。




### 天井面への取り付け

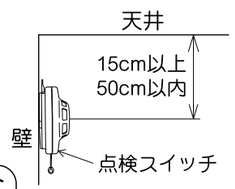
天井面に警報器を取り付ける場合は、前記 壁面への取り付け の取付板・取付ネジを使用した取り付け方法を参照し取り付けてください。

### 取り付け場所

1.この警報器は次のような場所に取り付けてください。
・寝室、居間　・階段の天井付近　・廊下　・台所
2.警報器の取り付け位置。
・警報器の点検スイッチ、引きひもが操作しやすい位置に取り付けてください。

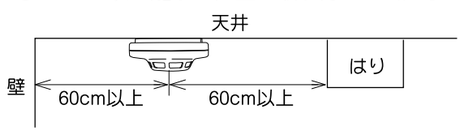
### 壁面に取り付ける場合

天井面下15cmから50cmまでの範囲に取り付けてください。



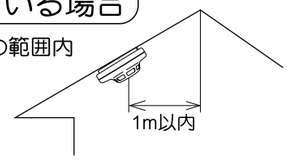

### 天井面に取り付ける場合

壁から60cm以上離した位置に取り付けてください。
また、はりからは60cm以上離した位置に取り付けてください。



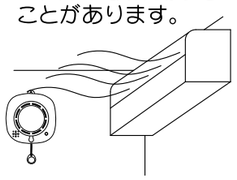

### 天井が斜めになっている場合

天井の一番高い位置から1mの範囲内に取り付けてください。

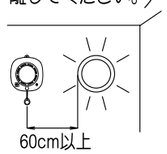



**⚠警 告** 次のような場所には取り付けないでください。火災による煙を正常に感知できず、誤作動や故障の原因となります。

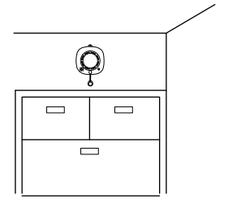
・エアコンなど空気の吹き出し近くの場所は煙が流されて作動しなかったり、ホコリやチリが煙感知部に入り、誤作動することがあります。



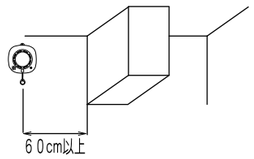
・浴室など水や湯気のかかる場所や結露する場所。
・照明器具の近く。
（照明器具から６０ｃｍ以上離してください。）




・車庫や煙のたまる場所や屋外(屋内専用)
・取り付け場所の温度が0℃を下回る場所、または40℃を超える場所。特に低温では、電池寿命が短くなります。
・背の高い家具の上など。



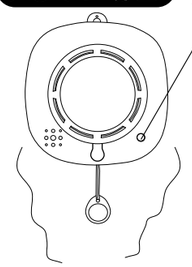
・たれ壁／はりの近く。
（たれ壁／はりから６０ｃｍ以上離してください。）




## 4. 使用方法

### 火災の場合

火災による煙が発生した場合



動作表示灯
・火災警報器の周囲に煙が発生した場合、動作表示灯が点灯(フラッシュ)し警報音が「ピー、ピー、ピー」と鳴ります。
・火元を確認し、119番へ通報するなど適切な処置をしてください。
・火災の状況に応じて避難してください。

### 警報を止めるとき

・煙が無くなれば警報音は自動的に停止します。また、動作表示灯は消灯します。
・点検スイッチを押すか引きひもを引くと警報音が停止します。周囲または内部に煙が残っている場合は、約14分後に再び警報音が鳴ります。

### 火災でない場合

**⚠注 意** 火災以外でも次のような場合作動することがあります。室内の換気をするか警報音を止めて下さい。警報器は取り外さないでください。

・スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接かかった時。
・たばこの煙を警報器に吹きかけた時。
・調理の煙や湯気などが警報器にかかった時。
・くん煙式殺虫剤などの煙を発生させた時。

### 点検のしかた

この点検は警報器の機能と警報音を確認する点検です。

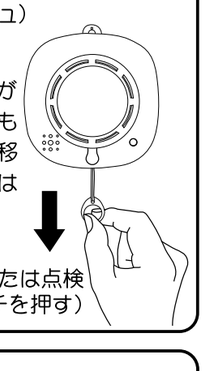
**⚠警 告** 点検は高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

正しくご使用いただいても、電池の消耗や故障などで正常に動作しない場合があります。
下記の要領で1カ月に1回、および1週間以上留守にされた時、正常に動作するか点検を行ってください。

①点検スイッチを「ピッ」音が鳴るまで押す。または、引きひもを引く。
②警報音(ピー、ピー、ピー)が鳴り、動作表示灯が点灯(フラッシュ)することを確認する。
③警報が鳴り動作表示灯が点灯(フラッシュ)すれば正常です。

なお、「ピッ」となった後「ピッピッ」音が鳴るまで点検スイッチを押すか引きひもを引くと上記の動作確認の他に1分間移報出力の確認を行います。移報出力中は動作表示灯が点灯(フラッシュ)します。

警報音が鳴らない場合は『8. 故障かと思ったら』をお読みください。




## 5. 自動試験機能

この警報器は煙感知部の故障を自動的にお知らせする自動試験機能を備えています。

**⚠注 意** 自動試験機能では、全ての故障は検知できません。

### 故障を検知したとき

故障検知時には動作表示灯が約10秒おきにピカピカピカと点滅します。また、約50秒おきに故障警報音（「ピッピッピッ」音）が鳴ります。

### 故障警報音を止めるには

故障警報音(「ピッピッピッ」音)が鳴っている場合に、点検スイッチを押すか引きひもを引くと故障警報音(「ピッピッピッ」音)が停止します。故障状態が継続している場合は、約12時間後に再び「ピッピッピッ」音が鳴ります。

※動作表示灯の点滅は故障の状態が継続している間点滅し続けます。お買い求めの販売店までご連絡いただき、新しい警報器と交換してください。